

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和4年度)

調査表

施設名	宮崎県建設技術センター
指定管理者	学校法人宮崎総合学院
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 管理課

1 施設利用状況

指標	R4	R3	R2	増減理由等
施設利用者数(単位:人)	12,369	9,745	10,401	感染症防止対策のための利用制限を一部緩和したこと及び研修受講者が増えたことにより、施設利用者数が増加している。
利用団体数(単位:団体)	497	352	450	
青年隊入隊数(単位:人)	39	45	39	
コメント	県の管理規則等に基づき適切な施設利用が行われている。 今後とも、青年隊募集活動の充実を図るとともに、効果的な施設のPRを継続していく必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R4	R3	R2	支出	R4	R3	R2
指定管理料	100,040	100,040	100,040	人件費	49,099	50,497	53,756
その他雑収入	292	1	1	光熱水費	11,388	10,615	9,837
自主事業収入	0	17	0	委託料等	13,889	13,380	12,830
				車両維持費	1,032	742	876
				施設修繕費	5,027	4,558	4,156
				隊員保険費	645	757	976
				公課費(消費税)	5,647	5,704	6,058
				自主事業経費	0	17	0
				その他	13,556	13,745	11,501
合計(①)	100,332	100,058	100,041	合計(②)	100,283	100,015	99,990
収支差額(①-②)	49	43	51				
コメント	全体的に効率的な事業運営を行っている。老朽化が進む施設の修繕費が増加しながらも、その他の経費の節約に努め、収支を安定させるなど、効果的な運営が行われている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和4年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃・定期清掃(週5回随時)、特別清掃(研修宿泊前後)
	保守・点検	消防用設備(年2回総合点検・機器点検)、電気工作物(点検月1回)、空調設備(点検年2回)、プール濾過(年1回)、ボイラー設備(点検年2回)
	警備	常駐警備(職員不在時に委託警備)・機械警備(センターが無人となる場合)、警備業務実施要領整備
	修繕	備品・設備点検(随時)、修繕計画策定
	備品等管理	備品台帳点検(随時)、備品管理台帳整備
	安全対策	安全管理点検、救急用品整備、危機管理マニュアル整備、避難訓練(年1回)
	その他	樹木剪定・除草(年3回)、環境整備(随時)、防鼠駆除(年6回)、害虫駆除(年4回)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート調査(随時)
	イベント等ソフト面充実	
	施設設備等ハード面充実	教材備品の整備
その他	隊員募集活動(オープンキャンパス、学校訪問、重点校の指定)及び進学・就職指導	
管理運営体制	情報公開、個人情報取扱の遵守	
コメント	施設の修繕や利用者の要望に速やかに対応できており、利用者満足度調査による評価も高い。産業開発青年隊の募集活動も、年間計画に基づき訪問活動や資料の郵送、新聞広告等の掲載など積極的なPRに努めている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(4月～3月にかけて施設を利用した団体対象)	
	調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
	利用者にアンケート提出を依頼しているが、職員の対応等に対する苦情はなし。	

5 総合評価

評価コメント	必要な管理運営体制のもと、協定書に基づき適正な管理運営が行われている。産業開発青年隊教育においても県内企業による説明会を実施するなど、県内建設業界の人材確保に向けた取組が行われており、評価できる。
今後の課題と対応	建設技術者の育成・確保のために、産業開発青年隊の効果的なPR、教育カリキュラムの充実、県内建設産業への就職率の増加などにより魅力ある青年隊教育を期待する。また、施設の老朽化が進む中、より計画的な維持管理を行う必要がある。